

---

# ポリクリをおえて

---

## ポリクリを終えて“先生”になって

歯学部5年生 綱島達也

車を運転されている方は分かると思います。初めて自分の手で車を動かした時の、ドキドキした興奮を。初めて一般道路を走らせた時の、なんとも言えない緊張感を。初めて本当の患者さんに触れた時の感想をたとえたとしたら、そんな感じでした。

新潟大学では5年生になると、ポリクリと呼ばれる臨床予備実習というものがあります。4年生までの講義中心の授業とは打って変わって、病院での実際の治療を見学したり、先生の助手を務めたりします。その中で学生は、始めて本当の患者さんに接する機会を持つのです。

確かに4年間勉強しました。マネキン相手の実習や、学生同士で行う実習もやってきました。先生の治療も見学したのですが、いざ自分でやろうとすると違うのです。本物の患者さんが相手だと、違うのです。その瞬間、自分は“先生”になるのですから。

「それでは今から歯石を取っていきますね。」

そういう声が、思わず震えそうになりました。いかんいかんと思ひながら、ライトを患者さんの口元に合わせます。左手にミラー、右手に歯石除去用のスクレーラーを持ち、密かにちょっと深呼吸。そばでは先生がバキュームを持ちながら、見守ってくれています。私はペダルを踏んで、患者さんの歯石除去を始めました。

超音波スクレーラーを歯面に当てると、「チッ、ジッ、チッチッ」というような音がして、おもしろいように歯石やら着色やらが取れてきます。そうやって一通り口の中をきれいにした後、今度は研磨剤を使いながら歯を磨いていきます。患者さんが痛くないように、かつ取り残しもないように、舌や頬の粘膜が寄ってくるのにもめげずに作業を

続けていきます。

「椅子を起こしますので、よくうがいされて下さい。」

どうにか終わると、ほっと一息。患者さんのエプロンはずしながら、うれしさが込み上げてくるのを感じていました。

学生が患者さんに実際に触れることに対しては、賛否両論あると思います。けれど、見ているだけでは決して分からないことや、自分でやってみて初めて分かることがほとんどなのではないでしょうか。患者の立場になって考えてみる、と言うかもしれませんが、先生はもちろん学生のできる範囲のことしかやらせません。その都度行うチェックも厳しいです。学生は学生で、全身全霊を込めて真剣に丁寧に治療しようとしています。適当に要領良く終わらせる余裕も無いのですから。“時間がかかる”ことは確かです。でも、“時間をかけた治療が行える”と捉えることもできるのではないのでしょうか。

私は今総合診療室で、先生の指導の下、患者さんの治療をおこなっています。大変ですけど、やりがいがあります。いつまでも初心を忘れずに、常に患者さんの立場に立った治療ができるように、がんばっていきたいと思います。

## ポリクリを終えて

歯学部5年生 本間香

去年の4月から7月、9月から11月と2クールに渡って臨床予備実習（ポリクリ）ということで全科を回ったわけですが、各科とも3日間ずつしかなかったということもあり、その科での雰囲気や内容、流れなどがわかりかけた頃にはもう次の科という感じだったので、めまぐるしく日々が過ぎていき、本当にあっという間でした。

4年生までは、学年全員で、講義室や実習室の

中だけで行動していたのですが、ポリクリでは1クール目は10人班、2クール目は7人班で行動し、さらに科によってはもっと少人数、また1人1人で行動することもあり、内容の濃い体験ができる場を与えていただき、ポリクリの期間というのは、総合診療室に出るにあたって、そして歯科医になるステップとしてかなり役に立つ、貴重な体験のできる期間だったと思います。

具体的な内容として、外来での介助や見学、学生同士の相互実習というのは今までにない貴重な体験ができたと思います。いずれにしても人が相手なわけですからそれなりの知識を持って臨む必要があります、予習は欠かせませんでした。しかし、それが100%予習通りにはいかず、教科書的な知識だけではどうにもならない、実践の中でしか学べない事もあり、日々失敗、勉強のくりかえしでした。介助するにしても、ライトの位置の合わせ方、バキュームの置く位置、介助するタイミング、また患者さんへの配慮、声をかけるタイミングなど、

ほんの些細な事のように思える動作や気配りが難しく、これこそやってみて、経験してみてもわかっていくことでした。また相互実習では、術者として技術的な勉強ができる事はもちろんですが、患者としての経験もできたので、患者さんの立場では姿勢や時間的にはどのくらいだと辛いのか、どうされた時が痛いのかなど、患者さんへの気配りを知る事もできました。

現在、総合診療室での実習が始まり、今度は実際に患者さんを治療するというまた新たな体験のできる場を与えていただいています。ポリクリで自ら肌で感じ取った大切な事、それぞれの科の先生方から教えていただき学んだ事を忘れずに、総合診療室で生かしていきたいと思います。これからは今まで以上に失敗、勉強のくりかえしになる事と思います。しかしせっかく与えてもらえた貴重な体験のできる場を生かし、総合診療室でたくさんさんの経験をし、歯科医になるにあたって多くの事を学び吸収していければ、と思います。